

性別にかかわらず、みんなが尊重し合い、その人らしく生きる。
仕事も暮らしも楽しむ、あなたを応援する情報誌です。

特集記事

令和5年度男女共同参画フォーラム

講演 山田 邦子

「笑顔で行こう！
～応援してくれる人は
必ずいる～」..... P.2

ワーク・ライフ・バランス推進優良企業表彰 P.6

新たに認定された
ワーク・ライフ・バランス推進企業 P.7

《講座レポート》

男女共同参画の推進と多様性をみとめあう
社会づくりのために講座を実施しています P.9

《INFORMATION》

性犯罪・性暴力は重大な人権侵害です
痴漢や盗撮等の被害を防ぐために～私たちにできること
ウィズ新宿 BOOK CLUB P.10

《INFORMATION》

家庭でできる子育て支援
新宿区の子どもショートステイ協力家庭に
なりませんか？ P.11

ウィズ新宿と区民団体との連携講座公募

これから開講予定の講座

「ウィズ新宿」編集委員会がスタートしました P.12



令和5年度

男女共同参画 フォーラム

開催日

令和6年 2月17日(土)

会場

四谷区民ホール

内容

オープニング

第1部

ワーク・ライフ・バランス
推進優良企業表彰式

第2部

講演 山田 邦子

「笑顔で行こう!～応援してくれる
人は必ずいる～」

区では男女共に活躍できる社会づくりへの意識を高める催しとして、公募で選ばれた区民による実行委員会と協働で男女共同参画フォーラムを開催しています。第20回男女共同参画フォーラムの様子を、一部抜粋してお届けします。

オープニング

新宿区少年少女合唱団による合唱を披露していただき、子どもたちの明るい歌声で会場を盛り上げました。

「ゆかいに歩けば」「小さな世界」「世界がひとつになるまで」「すてきな友達」の4曲を披露し、会場の皆さまからは「よく練習していた努力が見られ、すばしかった」「可愛らしい、澄んだ歌声が沁みました」との感想もいただきました。



第1部

ワーク・ライフ・バランス 推進優良企業表彰式

ワーク・ライフ・バランスとは、「仕事と生活の調和」を意味する言葉です。新宿区ではワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む企業の認定を行っています。令和5年度は、その中から特に優れた取り組みを行っている区内企業2社を表彰し、吉住健一区長から表彰状と表彰楯が贈られました。各企業の表彰のポイントについては、6ページをご覧ください。



講演 山田邦子

「笑顔で行こう！～応援してくれる人は必ずいる～」

お笑いタレントの山田邦子さんを講演者に迎え、ご自身の体験から自分らしく生きるヒントをお話いただきました。

はじめに

実は、講演会で北海道から沖縄、五島列島まで全国に行くんです。あまり四谷のこの会場では呼ばれないから、地元にごやつて来ることができてうれしいです。うれしいな、温かい拍手いただいてね。



デビュー

19歳ぐらい、短大時代からテレビにチヨロチヨロと出始めました。そのときにバスガイドさんのネタが大当たりして、卒業と同時にデビューということになりました。

懐かしい話になりますが、当時は昭和だったので今より荒っぽくて、熱が出ても「はい、着替えなさい。現場に行きなさい」と言われることもあり、ちよつと具合の悪い日もありました。でも、「いいから、代わりがいらないんだから」ということで仕事に行っていました。大きなけがをすれば、「もう要らないよ」ってすぐ言われてしまう世界でした。ほんとですよ、これ。根性で頑張っていました。今は、昔より働きやすくなっていると感じます。

その後、四谷にある事務所に入りまして。それをきっかけに、このあたりに暮らそうかということでも、もう40年以上が過ぎました。もう四谷大好き、新宿全体大好き。

母との別れ

ほんと残念なんですけど、母が昨年

亡くなりました。89歳でした。5年間介護が必要になってしまって、骨折が理由でした。そこから歩けなくなって最後の方は寝たきりでした。弟と交代で色々やりましたけど、飲み込むこともできなくなり、お腹に穴を開けて栄養を入れました。施設の方が担いで一緒に風呂に入れてくれたりと感謝しかありません。行く道を最後、母が私たちに見せてくれました。やっぱり人の横の繋がりが大切だとか、みんなに感謝するということを学びました。

がん発覚

2007年に乳がんになりました。テレビ番組の収録が発見のきっかけとなりました。

番組中にしこりを発見し、番組出演していた女性医師に連絡すると「すぐにいらっしゃい」と言っていたので、予約を入れて検査に行きました。

今は2人に1人ががんになると言われていますが、当時は今みたいに知識がありませんでした。ですから、「何で神様は私だけをそんな目に遭わすんだ。つらいな。悲しいな」って思っていました。

検査の当日乳腺外科にたどり着く

講演者

お笑いタレント
やまだ くにこ
山田 邦子さん



Profile

1960年東京都生まれ。
1980年に芸能活動を開始し、翌1981年にデビュー曲『邦子のかわい子がりっ子バスガイド編』で有線大賞新人賞を受賞する。
2007年には乳がんが発覚し、闘病生活を送る。その経験を生かして2008年にがんに対する知識と理解を呼びかけるチャリティー団「スター混声合唱団」を設立。
また、2018年には長唄名取「杵屋勝之邦(きねやかつのぶくに)」を襲名している。
2020年2月には自身のYouTubeチャンネル「山田邦子クニちゃんネル」を開設。すでに350本以上の動画を公開し、総再生回数は1800万回を超える。

と、待合室にはたくさんのお患者さんがいました。それまで「何で私が。私だけがこんな目」って、孤独感みたいなものもありましたけど、そこで仲間にあたえただけですよね。「えっ、こんなに患者さんがいるんだ。みんな一緒に闘っているんだ」ととても心強いと思うことができました。

検査の結果、番組で分かったがんは、1センチのものでした。本当に小

さい小豆の粒のようなものがあばら骨のところにキュツとあって、動かないタイプの嫌なものでした。それ以外にも、内側にもう1個、左側は下にもう1個あって、計3個もあり、手術で全部とっていただきました。手術は大功でも、がんになりやすいことが分かっているのです、相変わらず気を付けてはいるというようなところです。

おっぱいの話、男性の方、恥ずかしがらないでください。女性だけのがんではありません。確率は低いです、男性でも乳がんになる可能性があります。どこかへこんでいるとか、気になるときは男性も検査に行ってくださいね。



ピンクリボン運動

10月にピンクリボン月間というものがあります。乳がんの人たちがみんな頑張っているとか、検診の大切さを呼び掛けたりしています。都庁や東京タワーがピンク色にライトアップされているのを見たことがある人もいます。

手術などが終わり、ピンクリボンの会に初めて行きました。そうしたらもう、みんな明るくって、本当にきれいだったの。だからうれしかったんです。男性も罹る病気ではあるけれど、どこかでやはり、自分の中で胸が傷ついたから女じゃなくなったような、何か一瞬がっかりしたような気持ちがあったんだと思います。でも、会に参加して自分しは何か失われていないと感じました。みんな乗り越えた美しい笑顔が出ていたのになってね。

早期発見することで 治る可能性も高まる

がん発覚から17年も経ちました。早期発見だったからということもあるんですけど、今こんなに「元気」。

日本では、亡くなるまでに何かのがんにかかる人が2人に1人とされています。今日会場にたくさんの方に来場いただきましたが、その半分ががんになる。嫌だと思った？ 何が言いたいかと言うと、あまり怖がらないでくださいよ。がんは治る時代がやってきました。がんイコール死というイメージがどうしてもあると思います。実際は、芸能人も、治療して「頑張ってます」と言う方が多いのに、「頑張ったけど亡くなりました」という話ばかり取り上げるから怖いイメージが残るんだよね。

しかし、一番いけないのは手遅れです。私が笑っていられるのも、私が早期発見だったからなんです。

健康に関心のある方は健康診断も行っていると思います。ぜひ1年に1回のその人間ドックのオプションで乳がんの検査をつけてもらいたい。超音波（エコー）検査、そしてマンモグラフィをやってもらいたい。乳がんには、しこりのあるものと実はしこりがないというパターンもあるんですね。だから、セルフチェックをして「ないわ。ああ、よかった」ではちょっと危ないんで、ぜひ定期的に検診に行ってもらいたいです。

笑いの力で免疫力アップ

今現在病気で悩まれている方、先生との相性はいかがですか。やっぱり「この後どうなるんだろうか」と不安になることもあると思いますが、分らない先のことまであまり悩まないようにしてほしいです。でもやっぱり不安になりますよね。その不安だっている気持ちも、先生に言ってみてください。先生が全部持っていてくれますから。

そして、とにかく免疫力、笑顔でニコニコ、元気にしているほうががんになりにくいそうです。しかも、なった後も治るのが早いそうですから、ニコニコとしていきたいですね。免疫力は今日の講演でたくさん笑ってどんどん上がったと思います。

がんはやはり再発、転移ということがあるので、今日で治ったという日がなかなか来ないのね。それでも笑っていきましょう。私も泣いたりすることがあって、かっこ悪いと思っていたんだけど、時々大人だって泣いてもいいんじゃないの？ 泣くのも生きているからこそです。明日一緒に笑いましょ。

フォーラム実行委員からの一言

楽しみにしていた山田邦子さんの講演は、本当に素晴らしいたくさんの元気をもらいました。特にご自身の大変なときに、側で寄り添ってくれた人がいてくれたから今があるとお話に感動しました。

フォーラム実行委員会での一年間の活動が素晴らしい人たちとの出会いと自分磨きの大切な時間と場所になったことに感謝します。

(金長 のぶ子)

自然災害、外国で起きていること、日本の出来事など鬱々と心が晴れ晴れとしない日が続いています。

講演者の山田邦子さんは大病を経験されていますが、全身から「笑い」を誘い、私たちを明るく楽しい気持ちに導いてくださいました。きっと誰もがこの機会を待っていたのではと感じられる機会となりました。

(君塚 礼子)

たくさんの方にご来場いただき、多くのご意見を伺えた。多世代の方々の意見はとても興味深かった。現役世代と昭和世代、働き方を互いに知ることにより一層理解と思いやりが生まれ、ともに助け合う良い社会環境が創造できるのではないかなと思う。

多くの関心が集まり、全ての世代の誰もが自分らしい生きかたができる手助けとなるフォーラムをこれからもつくりたい。

(長崎 恵子)

テーマの「笑顔で行こう!」は司会を担当した私にとって課題となりましたが、緊張の中でも笑顔でやったことは貴重な経験となりました。

参加した方からも「一年分を笑いました」との嬉しい感想をいただき、山田さんの「笑いは免疫力を上げ元気になる力がある」との言葉を実感いたしました。人を笑わせるのは難しいですが、まずは笑顔にチャレンジしてまいりたいと思います。

(中村 和子)

笑った。笑った。久しぶりに腹をかかえて笑った。さすが山田邦子さん。90分間会場は笑顔いっぱいだった。元気をもらった。

初めてフォーラムの運営に参加し、素晴らしい方々に出会い、一つの物を作り上げていく達成感と自身の視野が広がった一年だった。

(富岡 文子)

一年間検討した講演会が成功し本当に嬉しく思います。

何故講演会を開催するのか?! やはり区民の皆さまに一人でも多くの方に参加していただき生きる力になることが重要かと思います。

それには、面白い話が聞ける人気のある有名な方、この条件は外せません。今回の山田邦子さんは面白く目が離せませんでしたね。また次回も会場が満員になるような方をお招きして素晴らしい講演会を開催したいと思います。

貴方も一緒に参加しませんか?!

(藤野 美千代)





ワーク・ライフ・バランス 推進優良企業を表彰しました

ワーク・ライフ・“ベスト”バランス賞

バランスの取れた取り組みを行い、実績のある企業

株式会社プラグマ

所在地 | 新宿区市谷船河原町11番地
代表者 | 代表取締役社長 堀口 恵子
事業 | 会計・税務、給与・労務のコンサルティング、アウトソーシング業務
従業員 | 40名(男1名、女39名)
ホームページ | <https://pragma.co.jp/>

※令和5年12月1日現在



2023年社員旅行写真

表彰のポイント

- ①介護休業の取得実績があり、介護と勤務を両立している従業員もいる。育児と同様に仕事と家庭の両立に積極的に取り組んでおり、本人の意思を尊重することを重視しているため、上長と丁寧なコミュニケーションを重ね最適な働き方を実現している。
- ②新宿区が実施したワーク・ライフ・バランスの取組勉強会に出講するなど、地域に根付いた活動を積極的に行っている。令和5年10月には、広くSDGsに貢献するものであれば取得できるボランティア休暇を新設した。また、代表が地域の団体に所属し、区内のお祭りや行事の周知を従業員に定期的に行っている。

従業員の声

ワーク・ライフ・バランス推進体制を強化するため、「テレワーク」と「出社」のハイブリッドワーク定着に向けた環境整備が進んだ1年間でした。テレワークの管理が「時間」から「日数」に変更され、余裕を持ったスケジュールを立てられるようになったことで、「ワーク」と「ライフ」のメリハリをつけて生活できています。オフィスのABW化(自由に場所を選択し働くことによって成果を出す仕組み)も行い、スイッチゾーンのカフェスペースは、社内交流やリラクゼーションに活用されています。

ワーク・ライフ・バランス特別賞

ワーク・ライフ・バランスに関して継続して努力し
成果を挙げている企業

株式会社プレシャスパートナーズ

所在地 | 新宿区西新宿二丁目6番1号
新宿住友ビル35階
代表者 | 取締役社長 高崎 誠司
事業 | 採用コンサルティング
従業員 | 157名(男81名、女76名)
ホームページ | <https://www.p-partners.co.jp/>

※令和5年12月1日現在



社員総会での集合写真

表彰のポイント

- ①有志で会社を改革するチーム「業務改善チーム」が立ち上げられ、職場改善を積極的に行うチームとして活動している。また、ワーク・ライフ・バランスに関して社長がメッセージを発した際には、現場の実情に基づいた意見があげられ、その声を反映して業務の見直しを行っている。
- ②区のコンサルタント派遣を活用し、育児介護との両立における管理職の対応や在宅勤務導入に関する情報提供を行った結果、上長とのコミュニケーションも円滑となり、在宅勤務も導入した。また、有給休暇取得率や時間外労働時間が改善した。

従業員の声

ライフイベントを迎えても、家族手当、時短正社員制度、テレワークでの勤務などの福利厚生・制度を活用して長く働くことができています。また、自ら立候補をする昇進試験制度、ジョブローテーション制度を活用して仕事と人生をリンクさせて働ける環境が整っており、さらに、部活動での仲間と過ごす時間も多くあり働きがいを感じながら働いています。

令和5年度に新しく認定された ワーク・ライフ・バランス推進企業を紹介します



※企業情報は認定当時のもの。

株式会社ADCEE

所在地	新宿区新宿五丁目10番12号 岩本ビル3階
代表者	代表取締役 上田 義明
事業	業務系アプリケーションの設計、製造、試験
従業員	16名(男9名、女7名)
ホームページ	https://adcee.jp/

認定のポイント

- 残業しないことを管理職から示し、効率のいい仕事をすることを社内風土とし、社員のワーク・ライフ・バランスを第一に考えている。
- 子育て等の特別な事由がなくとも、短時間勤務が可能。
- リフレッシュ休暇、記念日休暇をそれぞれ1日ずつ取得可能。



株式会社エイル

所在地	新宿区西早稲田二丁目21番16号 高田馬場EKKビル3階
代表者	代表取締役 吾妻 広正
事業	橋梁設計
従業員	26名(男17名、女9名)
ホームページ	https://www.eile.co.jp/

認定のポイント

- 経営トップが育休取得や働きやすい職場環境の整備のため、積極的に情報収集し、従業員に対し周知を行っている。
- アンケートやセミナー、ストレスチェックなどを定期的の実施するなど、仕事をする上での悩みや職場環境の改善等について相談できる体制を整えている。



シンフォニアエンジニアリング株式会社 東京本社

所在地	新宿区西新宿二丁目7番1号 新宿第一生命ビル12階
代表者	東京本社長 山田 裕克
事業	建設業(電気設備工事業)
従業員	39名(男30名、女9名)
ホームページ	https://www.sinfo-eng.co.jp/

認定のポイント

- 法定以上の時短勤務制度を整えている(子の小学校卒業まで)
- ミニリフレッシュ休暇(3日連続の有給休暇)の取得を推奨している。
- 月1回、従業員から職場改善提案を募り、管理職が委員会で共有している。



株式会社スカイベビーズ

所在地	新宿区市谷仲之町2番10号 合羽坂テラス2号室
代表者	代表取締役 安井 省人
事業	WEBの企画制作、グラフィックデザインの企画制作、映像・音楽の企画制作、ECサイトの運営およびプロデュース、ブランディング支援
従業員	19名(男10名、女9名)
ホームページ	https://www.skybabies.jp/

認定のポイント

- 出社の義務を設けておらず、テレワーク等を活用し自ら業務をコントロールできる。
- 有給休暇について申請・承認の手続きなく取得が可能(労働時間の管理と同様にExcelに入力し、代表と経理担当へ提出)。

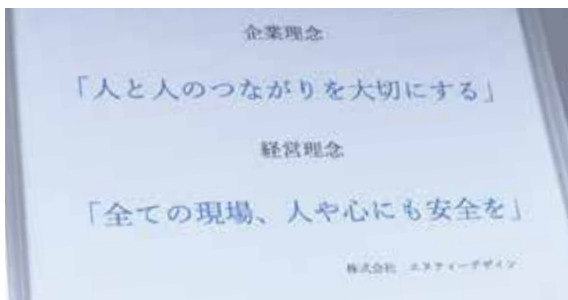


株式会社エヌティーデザイン

所在地 | 新宿区下宮比町2番28号
飯田橋ハイタウン327号室
代表者 | 代表取締役 富樫 尚久
事業 | AutoCADを使った仮設計画図、建築施工図の作成、申請書類の作成等
従業員 | 12名(男6名、女6名)
ホームページ | <https://nt-design01.com/>

認定のポイント

- 仕事と家庭の両立支援制度やハラスメント防止の記載を含めた、イラスト付きの分かりやすいルールブックを作成し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた風土づくりに取り組んでいる。
- 代表が育児休業を取得し、テレワークも率先して行うなど、両立に関する情報は代表から職場のリーダー、職場全体に周知されている。



グローバルライフサイエンス テクノロジーズジャパン株式会社

所在地 | 新宿区百人町三丁目25番1号
サンケンビルディング
代表者 | 代表取締役 ベレ・ステファン・ドミニク・ポル
事業 | バイオ医薬品製造用の試薬、消耗品、機器、およびその付属品の販売および保守
従業員 | 265名(男195名、女70名)
ホームページ | <https://www.cytivalifesciences.co.jp/>

認定のポイント

- 男性従業員や管理職女性の育児休業取得実績がある。
- 法定以上の取り組みとして、子の看護休暇は1年に12回まで、介護休業は1年間まで取得が可能となっている。
- 女性の管理職登用が進んでいる。(29.54%)



ワーク・ライフ・バランスで 社員も企業も元気に!!

ワーク・ライフ・バランスとは、個別の事情や希望に応じて、「仕事」と「仕事以外の生活」の調和が図られている状態をいいます。柔軟な働き方ができる環境を整備することは、個人のライフステージに応じた働き方ができるだけでなく、業務効率のアップや優秀な人材が企業に定着するなどの効果が期待でき、企業の生産性向上につながると言われています。

ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度

新宿区では、国や他自治体に先駆けて平成19年度から「ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度」をスタートさせ、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業、またこれから取り組みたいと考えている企業をサポートしています。取り組みを進めるため、コンサルタント派遣や関連するセミナーの開催などを行っています。

2つの区分で認定

推進企業
取り組みが進んでいる企業

推進宣言企業
これから取り組んでいく企業

4つの分野で認定

子育て支援

- 女性も男性も育児休業を取得しやすい環境整備
- 子育てしやすいようにするための制度の導入

など

地域支援

- 企業として地域活動に貢献
- 従業員が地域活動等に参加しやすい環境づくり

など

介護支援

- 介護休業・休暇が取得しやすい環境整備
- 介護しやすいようにするための制度の導入

など

働きやすい職場づくり

- 長時間労働の防止
- 休暇取得しやすい環境整備
- 能力開発やキャリアアップの支援

など

男女共同参画の推進と 多様性をみとめあう社会づくりのために 講座を実施しています

新宿区立男女共同参画推進センター(ウィズ新宿)では、男女共同参画社会実現のために、さまざまなテーマで区民向け啓発講座を多数開催しています。今回は、令和5年度に協働で実施した3つの講座をご紹介します。

新宿区と区民団体との連携講座

男女共同参画に対する意識を高め、区民相互の交流を促進するため、公募により区内活動団体と協働で開催する講座です。

制約時間をどう克服するか考える～仕事と育児を両立するために～ (対面講座)

子育て中の方で復職を考えている方を対象に、区民団体の「リリナグ」さんと協働で実施した対面講座です。育児中の働く女性のモデルケースが提示され、登場人物それぞれの視点に立って考えてみる。また、自分だったらと考えを巡らせる。問題を回避することは可能だったのか、などさまざまな立場や事象を思い描くことで解決策を導き出す講座でした。育休中の為、小さなお子さんを連れてご参加いただいた方々もいて、終始和やかな雰囲気の中での講座となりました。



講師：林 理美氏

男女共同参画講座

男女共同参画の実現を目指し、男女共同参画意識の向上を図ると共にリーダーとして活動できる人材を育成する講座です。

災害時のトイレ対策ははじめませんか?～多様な視点で考える防災～ (対面講座)

男女共同参画推進センター運営委員会と協働で実施した講座です。「1日何回トイレに行っていますか?」という問いかけから講座が始まりました。震災時は停電しやすく、マンションなどでは水道やトイレが使えなくなることがあります。毎日あたり前に利用している物だからこそ、災害時に使えないと困ることになるでしょう。また、簡易トイレなどの備品は“買って安心”ではなく、一度試してみることの重要性、避難先での周囲への配慮や注意などの対応策をご指導いただき、参加した方からは数多くの良い感想をいただきました。



講師：高橋 聖子氏

性と生の講座

性の問題を通して、男女共同参画の意識を高めるための講座です。

子どもに伝えられますか「性」のこと (オンライン講座)

こちらも男女共同参画推進センター運営委員会と協働で実施した講座です。「性」に関することを子どもに話す時の心構えを詳しくお話しいただきました。まず子どもの質問やトラブルを否定せず、信頼関係を築くことの大切さや、科学的に正確でやさしい言葉を用いて伝えるなど、具体例をあげながら分かりやすく説明していただきました。そして、性教育は“一度すれば終わり”ではなく、生活の中のさまざまなテーマで、繰り返し伝えていくことの大切さを教えていただきました。



講師：染矢 明日香氏

性犯罪・性暴力は 重大な人権侵害です

痴漢や盗撮等の被害を防ぐために～私たちにできること

「痴漢や盗撮行為は犯罪」ということは誰もが知っていても、もしも痴漢や盗撮等の犯罪が起きそうになったとき、居合わせた第三者の「さりげない行動」が犯罪を未然に防ぎます。

東京都では、警視庁と協力して、犯罪被害を防ぐ「第三者」の行動変容に係る動画を作成しています。電車内での痴漢行為や歩道橋での盗撮行為などに遭遇したとき、被害者を助けるためにどう行動すべきか、第三者の行動事例を分かりやすく紹介しています。

犯罪を生まない社会へ、できることから始めてみませんか。

問合せ

東京都生活文化スポーツ局 都民安全推進部治安対策課
☎03(5388)2255

現在は12本の
動画を公開しています。

動画はこちらから
ご覧いただけます



【もしかして、痴漢?】編



【あれって盗撮?】編



ウィズ新宿 BOOK CLUB

今号の記事に関連する書籍をご紹介します。ウィズ新宿にも所蔵していますので、興味の湧いたテーマについてより知識を深め、暮らしの中でも上手に活用していきませんか。

防災



「全災害対応! 子連れ防災BOOK
1223人の被災ママパパと作りました」
(NPO法人ママプラグ/祥伝社)

絵本(子ども向け)

「うみとりくのからだのはなし」
(遠見才希子 作/佐々木一澄 絵/童心社)



子育て

「やってよかった育児パパ
日本人のパパがスウェーデンで
たどり着いた男女平等教育」
(谷沢英夫/新評論)

山田邦子さんの著書

「生き抜く力」
(山田邦子/祥伝社新書)



家庭でできる子育て支援



新宿区の子どもショートステイ 協力家庭 になりませんか？



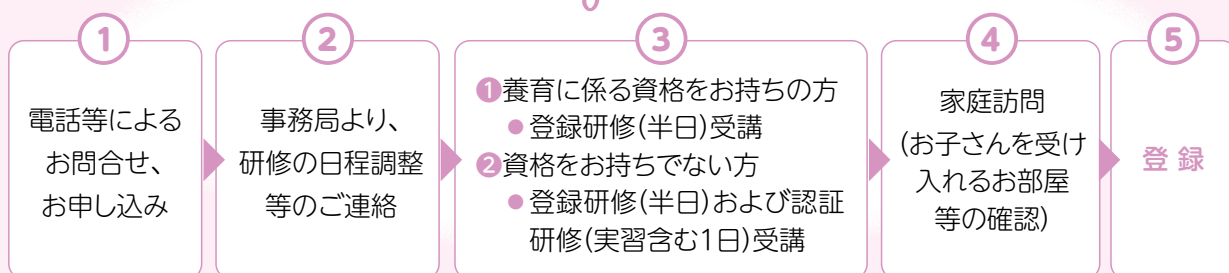
協力家庭での 子どもショートステイとは

保護者の入院、出産、介護、出張、育児疲れ等で、昼夜を通してお子さんを養育する方がいないときに、区内のご家庭（協力家庭）でお預かりする制度です。協力家庭には養育費が支払われます。

どんな人がなれますか？

区内在住の方
18歳以上の同居人がいる方
(要研修受講等)

協力家庭登録までの流れ



対象のお子さんは？



区内在住の生後60日から
18歳未満のお子さん
(協力家庭には主に3歳以上の
お子さんをお願いしています)

どんなことをしますか？

保育園、小学校等への送迎や、食事や
外出をするなど、ご家族の一員として生
活をともにし、お子さんに合わせた遊び
や学習の支援をしていただいています。

お問合せ先

新宿区立子ども総合センター
総合相談第一係
☎03(3232)0675
※午後5時～10時にお預かりする
トワイライトステイ協力家庭も
あわせて募集しています。

協力家庭さん からの 声



我が家の末っ子は、妹ができたように、お世話をしていました。

大人ばかりの生活が、久しぶりににぎやかになりました。

預かっているお子さんの保育園に迎えに行ったところ「もっと早くお迎えに来て。早くお家で遊びたいから」と言われて、嬉しかった！

仕事一筋だった夫が、リタイア後に協力家庭をしていると、こんなにも子ども好きだったのかと発見があった。

ウィズ新宿と区民団体との連携講座 男女共同参画をテーマに区と協働で講座を企画してみませんか

募集期間

令和6年
12月13日(金)
まで

区と連携して講座の企画運営をする団体を公募します。

区内で活動している団体の企画で、次の全てに該当する講座に限りです。

- ▶ 令和7年3月24日(月)までに対面またはYouTube配信等のオンラインで実施
- ▶ 男女共同参画をテーマとする
- ▶ 団体の構成員以外も受講できる
- ▶ 営利・宗教・政治目的ではなく、受講料を徴収しないなど

【団体のメリット】

- 講師謝礼は区が負担(※区の基準上限額まで)
- 区広報等に講座の案内を掲載
- 団体が作ったチラシを、出張所や図書館等の区施設に配架

詳しくは、区のホームページからチラシ(応募要項)をダウンロードするか、
男女共同参画課 ☎03(3341)0801 までお問い合わせください。
http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/danjo01_001057.html



これから開講予定の講座

対面講座

① 赤ちゃん誕生の前に考えよう「パパの育休と家族の時間」

日時：8月3日(土)午前10時～12時

会場：男女共同参画推進センター(ウィズ新宿)3階会議室

講師：渡邊 大地氏(株式会社アイナロハ代表)

② ちい先生の「パパと作ろう工作教室」

日時：8月24日(土)午前10時～12時

会場：男女共同参画推進センター(ウィズ新宿)3階会議室

講師：井上 智陽氏(手作りおもちゃ講師)

③ 子育てのイライラを解消！

ママの心を整えるセルフコーチング

日時：9月27日(金)午前10時～午後3時(昼休憩あり)

会場：四谷保健センター5階

講師：大野 陽子氏(ライフコーチ)

令和6年度ウィズ新宿の
講座はこちらから



令和6年度

『ウィズ新宿』編集委員会が スタートしました

新宿区では、公募の中から選ばれた区民の編集委員と区の協働で、年間1回『ウィズ新宿』を発行しています。6月には7名の委員が2日間の編集講座で編集の基礎や男女共同参画について学びました。7月からは次号146号(令和7年1月発行予定)に向けて、編集会議を重ねながら記事を執筆しています。どうぞご期待ください。



▲編集講座の様子

編集後記

今号は、令和5年度男女共同参画フォーラムで行った山田邦子さんの講演を中心にお届けしました。新型コロナウイルス感染症で中止していたオープニングも4年ぶりに再開し、講演タイトルのとおり、会場は笑顔であふれていました。

講演でお話いただいた山田さんご自身のこれまでの経験やその時々の変化は、皆さんにも共感できるところがあったのではないのでしょうか。

これからもウィズ新宿では、講座の内容に合わせオンラインや対面の講座を開催していきます。ぜひご参加ください。



発行 | 新宿区子ども家庭部男女共同参画課
新宿区立男女共同参画推進センター
〒160-0007 東京都新宿区荒木町16番地
TEL:03(3341)0801 FAX:03(3341)0740

発行日 | 令和6年7月30日

この印刷物は再生紙を使用しています。



駐車場・駐輪場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。